

穴道湖の夜明け

脚本・演出 山口信夫

演技等要点

1. 羞恥心を捨てる。大きな声で明瞭に発声、元気で楽しく演技する。
2. 演技、言葉は各人工夫。子供が対象であり、動作を大きく、明瞭に。
3. 服装、携行品は役に応じて各自工夫。全般的に明るく派手な色調がよい。
4. キャストとスタッフは一体、場面に応じた舞台作り、道具準備等創意工夫を。
- 5 所要時間 45分 スピーディな舞台転換に心掛ける。

キャスト

父 社長 (73)	安田邦彦
母 (65)	本田冷子
知幸 (38)	須山知幸
良美 (36)	石倉良美
洋子 (小5)	池田敏江
教授	山口信夫
漁師	北垣幸久
漁師	大草度三
漁師	新田良一
漁師	高橋充男
漁師	櫛井伸幸
主婦	菅井美津子
主婦	糸原鈴子
主婦	大石みさを
遊仲間 (兼)	新田良一

スタッフ

大道具	柏木 巖
庶務	藤井礼子
庶務	八幡弘子
照明	坂本和代
照明	北野容子
音楽	西村とみ子
音響	川島久明
映像	山口槇子
写真・VTR	来原 薫

第1幕

情景 季節は夏、松江市浜佐田町の「安田シジミ食品」社長の家のリビング。ステージ奥を一段高くセット。下手に「安田シジミ食品」の看板。応接台と椅子、5脚。上手に事務用長机（ストッパー付き）。扇風機。

映像 （舞台スクリーンに照射）社長家のリビング。窓の外に宍道湖の風景が見える。

音楽 明るい家庭の雰囲気曲、20秒。

場面 母と長男の嫁の良美お茶を飲んでいる。洋子はエコキャップの数を数えている。長男で会社専務の知幸、白のハンチング帽、派手なゴルフウェア。ゴルフバックからドライバーを取り出し、磨いている。

照明 音楽、映像に遅れて照射開始。

知幸 （立って下手を気にしてそわそわ）親父、遅いなー。

洋子 お母さん、今度は男の子？ 女の子？

良美 さあ、どうかねー。どっちがいい？

洋子 弟。絶対！ 弟よ。

良美 （知幸がそわそわしているのを見て）あんた、今日も行くんかね？

知幸 大事な付き合いだ。前から誘われちゃって。

良美 暇さえあればゴルフに麻雀にお酒。（お腹をさすりながら洋子に）
・・・まー私は、流産の後だから、元気な赤ちゃんであればいいわ。

知幸 女の子なら、洋子に婿さん貰うだわ。

洋子 えー、お婿さんなんていや、私、お嫁に行く、絶対お嫁に行くもん！

母 （FAXの紙を手に）ほら、組合からFAXだよ。

知幸 なになに「地球温暖化とシジミ漁」山中鹿介教授？
あっ、今日だったか！講演会。まいったなあー。

洋子 （FAXを覗き込んで）地球温暖化？ 私知ってる。

良美 洋子、エコクラブに入ったんだよねー、今何をやってるの？

洋子 （ビニ袋入りキャップを示し）エコキャップ集め。これでねー、恵まれない国のお友達にワクチンが贈れるの。

母 （洋子を見やって）感心だねー、（知幸を見て）それに引き換え知幸は。
知幸！ ちゃんと出るんだよ。講演会。

知幸 パスパス、無理だって。市議員さんがお待ちかねだ。

良美 また小松原議員さんをだしにしてー。

知幸 良美、頼むわ、ゴルフの後は飲み会。大事なつきあいだ。（妻に手を合わせる）

良美 困った人ねー、今週は4日目、お父さんの負担も考えてよ。

音響 どたばたと、慌てた足音、扉の開く音。

音楽 早いリズム、衝撃的な曲、徐々に小さく。
照明 下手の入場者を照射。

大草 (下手奥から走り込んで) タ、タ、タ、大変だ、親父さんが!
4人 (こもごも下手を注目) どげした! 何事?
大草 お、親父さんが倒れなった。熱中症だ!
4人 何、倒れた! 熱中症だって! どうしよう!
父・北垣 (下手から漁師の服装をした父、北垣の肩にもたれ唸りながら入ってくる。4人下手へ走る)

北垣 奥さん、社長が熱中症です、水枕を!
4人 熱中症! そりゃ大変! 親父! おじいちゃん、どうしたの?
父 うーん、うーん、目が・・・目が回る、く、苦しい。
母 とりあえずここに(事務机の上に寝かせながら) あんた、大丈夫!
大草 水から上がりなって、暑い、暑いと・・・真っ赤な顔で。
北垣 ウエッドスーツを脱がせて、冷やしたんですが。
父 うーん(嘔吐が始まる) ゲーゲー。
母 一寸、洗面器、洗面器!
(知幸と洋子、上手に走り、洗面器とバケツ、良美は水枕を持ってくる。)
父 (しばし嘔吐、母、背中をさする)
4人 ~父に向かって扇風機を回し、タオルを額に、後頭部に水枕。知幸、体温計を父の脇に差し込む~

知幸 親父、一体どげしたことだ。
北垣 この頃、温暖化とやらで穴道湖の水温が異常に高いけん。

~知幸、父の脇の下から体温計を取り出し~

知幸 39度2分、39度2分だ。
父 うー、うー、す、すまん、もう、大丈夫。大丈夫。
(起き上がろうとするのを母、押さえつける)
母 39度もあるに何が大丈夫、寝て、寝て!
良美 (母に) 救急車、救急車呼びましょうか?
父 何? 救急車だ! そげなもん、いらんぞ!
母 そげだねー、ピーポーピーポー鳴らして来られーと、また何言われるかわからんから。後で日野先生に相談しよう。
良美 (夫のそばに行き睨んで) あんたのせいよ、あんたがシジミ漁に出ていたら、こげなことにはならんかった。
大草 シジミかきは重労働ですけんねー。親父さん、疲れがたまっちゃって・・・
北垣 親父さんに寝込まれでもすると、組合がばらばらになりますけんねー。

母 まあ、お二人には大変ご迷惑をかけました。

良美 片付まででしょ。あとは大丈夫、どうぞ行って下さい。

北垣 そいじゃ、お言葉に甘えて。(父に) 親父さん、無理さんで若い者に任せてよ。(知幸の肩を叩く)

大草 なあ、知さん。頼むで。

一同 ～こもごも礼を言う。2人下手へ、父、2人に手を振って～

父 ちょちょちょっと。幸さん、度さん、(2人、近寄ったら) わしのことは内緒、内緒だぞ。

北垣 あー、親父さん。安心してごしない。

大草 わし、口が堅いですけー。

北垣 度さん、ほんに大丈夫かい？ いつも滑るが。

大草 またー、人聞きの悪い。
～2人、雑談しながら、下手へ去る～

知幸・ (知幸、時計を見てそわそわ、その時知幸の携帯が鳴る) あー、もしも
音響 し。兄貴。なに？ 呼びに来た・・・玄関。(あわててゴルフバックを担ぐ)

母 知幸、だめだよ！ お前、まだ行こうとして、今日は駄目だよ。

良美 (良美、知幸の手を掴む) 今日はだめ。お父さんがこげな状態と言うのに。行っちゃー駄目！

知幸 痛、た、た、た、離せよ。遊びじゃないって、行かせてくれよ。

父 よ、良美さん、行かせてやれ。(間) 男の約束だろ。たとえ遊びでも。

母 あんた、またー甘いことを。

良美 お父さん、駄目よ！

知幸 エッ、親父。本当か？ やっぱ親父だ。理解があるわ。
(良美の手を振り切り父親の顔を覗き込んで) じゃ、親父、行ってくるわ。大事にしてよ。(ゴルフバックを肩に、急ぎ下手へ)

母 知幸、4時だよ。講演会！

良美 あんた・・・

洋子 お父さん、「地球温暖化防止の講演会、4時だよ！

遊仲間 ～良一、サングラス、帽子、派手な服装で笑いながら下手玄関に～
知さん、遅いじゃないか。なんぼハーフだと言っても時間は守らんと。みんな待ってるぞ。

知幸 やー兄貴、すんません。よし、ファントムでダッシュだ。

遊仲間 ご自慢の外車、ファントムか、さあ、千鳥カントリーへ、レッツゴー！

音響 車のエンジン音、強く響かせながら遠ざかる。

第2幕

音楽 「花は咲く」20秒、徐々に小さく。
映像 地球温暖化のIPCCの予測映像、セッティング場面。
舞台 上段に「シジミ会館」の看板。下段に椅子8脚。
状況 下手側椅子に漁民の北垣、大草、高橋、上手側椅子に櫛井、菅井、糸原、大石の7人着座、雑談している。

大草 それにしても遅いなー。山中教授。
北垣 教授、リサイクルが近いらしいから、練習に力が入ってるんだろう。

ピアノ ～サンタルチアの間奏から曲へ20秒～

櫛井 おっ、噂をすれば影、教授のお出ました。
教授 (教授、下手客席から鞆を肩に入場) いやー、皆さん、遅くなりました。
糸原 教授、今日は歌ってくれないんですか、カンツォーネ。
教授 いや、とても歌う気分になれません。
大草 えっ、どういう意味？
大石 何か困ったことでも？
教授 先の西日本の大災害、地球の温暖化が加速させたというのです。
新田 ということは集中豪雨、それに熱波、やはり温暖化のせいですか？
教授 そのようです。先日、環境学の権威者、江守正多氏が記者会見で明らかにされました。
北垣 気象庁は慎重で、原因についてなかなか語らんだったが、やっぱり温暖化の影響ですか。
教授 広島、岡山を襲った豪雨災害、過去の台風とは比較になりません。台風の後には熱波、40度を超すなど、体温よりも高い日が続いた。温暖化がIPCCの予測をはるかに上回るペースで進行しているのです。
知幸 (遅れて下手階段からゴルフバックを担ぎ、顔を隠すように入室、ゴルフバックを置き、最後部の椅子に着座する。誰も気付かない)
高橋 教授、IPCCというのは、国連の研究機関のことでしたよね。確か、本部はジュネーブに。
教授 そうです。「世界の気象を予測する科学者集団」のことです。では、そのIPCCの製作した映像で、温暖化予測をご覧くださいませ。左側に年号が出ます。赤は気温が上がり、青は下がります。
・・・では、2000年から、スタート！

映像 地球温暖化の進行予測映像、2000～2100年照射。

一同 (10秒後から驚きの声) うわーどんどん赤くなる。北極も色が変わった。恐ろしいねー、こら、どげんなーね。

教授 これは世界が、今のペースで二酸化炭素を出し続けた場合の予測です。現時点では最大で3, 8度と予測していますが、どうやらそれで収まりそうにもありません。

一同 3, 8度! (それぞれ顔を見合わせて驚く)

榊井 3, 8度! えらいことだがね。

大石 風邪をひいて体温が1度上がっても苦しいのにねー。

菅井 今年も熱中症の死者が続出、一体どげんなーね。

大草 (立ち上がり声を潜めて) 実は、ここだけの話だが、今朝、安田社長が熱中症で倒れた・・・

一同 熱中症! 社長が熱中症! そら、大変ですがね。(こもこも騒ぐ)

北垣 (立ち上がり、指を口に) シー、度さん、そーは内緒だったかのー。

大草 あっ、しもうた! つい、うっかり滑った。

榊井 度さんの口はスケートを履いちょーけんのー。

一同 笑う。

新田 社長が熱中症か、無理しとられたけんのー。

大石 それは大変ですがね、で、お具合は?

大草 わしらの対応が良かったんで、なんとか熱も下がって。

北垣 また度さんがー (間) 熱は39度2分でした。

菅井 39度2分! 可愛そうに。

糸原 知幸さんがもうちょんぼ働きなーとねー・・・

新田 ゴルフやマーチャンぱっかりせんで、シジミかきに出りゃええがのー。

大草 そげそげ、知さんがいたらただけん社長も可哀想だわ。

大石 あの身体なら、いい仕事ができるでしょうに、もったいない。

知幸 (身体を小さくし、顔を隠す)

高橋 ま、ま、ま、で、3, 8度気温が上がったら、そんなとき、宍道湖は、宍道湖はどげなーますか?

教授 北極や南極の氷が解けます。それに海の水が温まって膨らみ、日本海でも水位が80センチも高くなります。従って、海の水が大橋川を上って宍道湖に流れ込み、宍道湖は海になるでしょうね。

一同 海? 海だと! 宍道湖が海ですと? 冗談言わんで!

榊井 宍道湖が海になったら、わしらのシジミは?

糸原 シジミは、シジミはどげんになりますか?

教授 ヤマトシジミは汽水湖の生物ですから、海では生きられません。絶滅するでしょうね。

新田 なんだと! シジミが絶滅だ!

榊井 そげーん馬鹿なことがあーますか!

高橋 聞き捨てならんが、その前にちょっとトイレだ。(席を立て、下手奥へ)

大草 トイレだと！ 何だね、この大事な時に。(一同、非難の声と眼差し)

系原 シジミが獲れなくなるね？ 私らシジミ漁師は、生活出来ませんがね。

大石 私らに、死ねというんですか。

一同 (こもこも騒ぎ立てる)

教授 (大きく手を3回叩いて) まあまあお静かに、皆さんが今後二酸化炭素の発生量を減らすよう頑張れば、まだ避けられる可能性はありますよ。

大石 なーんだ、それを早や言ってよ。

北垣 広島や岡山の大災害を繰り返さぬためにも、いまこそ我らの底力を見せぬと。

大石 だったら我が家はこの際、太陽光発電に切り替えるわ。

系原 私はゴーヤのカーテンと打ち水、やってるけど。

櫛井 おらは普通乗用車止めて軽トラにするわ。

新田 よし！ 負けてはおれぬ。わしんとこはプロパンガスやめて(薪ストーブを高く掲げ) これ、薪ストーブだ。

大草 おー、薪ストーブ、山には木が無尽蔵にある、みんなでやらこい。

一同 おー、やらこい、やらこい。

菅井 新田さん、ストーブづくりの講習会開いてよ。

新田 ああ、ええよ、みんな参加するだぞ。焼き芋もできーけんなー。

一同 やろうやろう、

櫛井 みんなが工夫すれば温暖化も逃げていくわ！

一同 そげだ、そげだ(拍手)

北垣 ところで専務はどげされーだろうか、あのファントム、リッター6キロの御自慢の外車。

系原 リッター6キロ？ 二酸化炭素出しっぱなしですがね！

菅井 廃車にされーでしょう、次期組合長さんですから。

大石 どうですかねー、ゴルフの度に嬉しそうに乗って出られますが。

高橋 (手を拭き拭き下手から入場、ゴルフバックにつまずき転倒) 痛っ、何だ、こーは？ (ゴルフバックを立てる) 誰だ、こげんとこへ鞆を・・・

北垣 あれ、こーは専務さんのゴルフバックだないかね、専務さんの。

新田・ ということは・・・(きょろきょろして顔を隠している知幸を発見)

大草

新田 あっ、知さん！ いや、専務。

大草 あっ、専務さん(ぱつが悪そうに) 今朝ほどはどうも。

一同 (櫛) あらー、ここにおらいたか。(大石) し、しまった。今日はいいお天気で、(菅) お父さんのお具合はいかが？ (高) 赤ちゃんはまだですか。赤ちゃんが生まれたら、盛大なパーティー、させてもらいますけんねー。

系原 知幸 (立ち上がって手を振り上げ)

うるさーい！何だと！ ゴルフだ！ファントムだ！ゴルフがどげした。
外車がどげした。人の気も知らんで！ふん、温暖化？温暖化と、知った
かぶりして！ くっそー、腹の立つ！

(一同、知幸に追われて上手へ退場)

櫛井 (専務と漁師や主婦の間に入り) 専務さん、抑えて、抑えて。
一同 ~静まり返る、知幸に礼をするなどして、そそくさと上手、下手へ退
場、教授と知幸だけが残る~

音楽 静かな、心にしみるメロディ 映像が消えるまで。

教授 人間は変わることができません。一人一人が自分勝手をやめ、二酸化炭素
を減らすように生活を見直せば、宍道湖が海になることは避けられるで
しょう。

知幸 宙を睨み無言。

照明 徐々に消える

映像 徐々に消える

第3幕

音楽 暗く寂しい曲 舞台転換が終わるまで。

映像 夜の安田家のリビング。

舞台 第1ステージに同じ。下手に「安田シジミ食品」の看板。舞台中央に
ソファ、父がトレーナー姿で座り、その横に洋子。

母は入院の荷物の準備でバタバタしている。

そこへ下手から知幸がうなだれてゴルフバックを担いで帰ってくる。

照明 下手から入場の知幸を照射。

マイク (良美、マイクを確認しておく)

洋子 (父に走り寄って) お父さん、お父さん！お母さんが入院したよ。

知幸 な、何だって、良美が入院！ 生まれるか・・・

母 さっき、立花産婦人科へ。生まれるのは明日らしいんだけど。

洋子 どんな赤ちゃんかな、楽しみだわー。

父 知幸、お前、講演会出たんだろ。

知幸 ああ。

父 どげだった？

知幸 ・・・・このまま人間が二酸化炭素を出し続けたら、やがて宍道湖は海に
なると。シジミが絶滅すると。

父 何、宍道湖が海？ シジミが絶滅だと！冗談を言うな！

知幸 本当だ、まだ打つ手はあるような・・・

洋子 (父の前に進み出て、真顔で) お父さん、今乗ってる外車、リッター6

キロでしょう。あんな排気ガスばかり出す車に乗ってるから、温暖化が進むわね。宍道湖が海になるわね！

知幸 うるさいぞ！洋子、お前までが……

洋子 だって・・・本当だよ。私、学校で勉強してるもん！

父 で、お前はどげする気だ。宍道湖を護る気があるんか。(間) この会社、継ぐ気があるんか！どうなんだ、知幸！（ふらふらと椅子へ倒れ込む）

知幸 ……なんで急にそげんこと。(腕組みをして悩んでいる。そこへ母が上手から)

母 知幸、お父さん明日入院だよ、日野病院へ。

洋子 さっき日野先生が往診された。当分、安静だそうよ。

知幸 (間) えっ、親父が入院！入院！うーん、何ということだ。(苦しい表情)

母 お前もここで、真剣に考えんと。

洋子 (洗面器を指さして) お爺ちゃん、又げろげろしたんだよ。

知幸 (洗面器を横目に苦悶の表情) うーん・・・困ったなー。(頭を振りながらうろうろ) いったいどげすーだー。みんなとは大喧嘩してしまったし・・・

母 (頭を抱えている和幸を見やって) 知幸、ちょっとここに座りなさい。話しておきたいことがある。

知幸 何だよ、おふくろ、改まって。(知幸、母の横の椅子に座る)

音楽 「生きる者の歌」小さく静かにながす。

母 お前のお父さんも若い頃は遊び人だった。40年前、私が嫁に来た頃は毎日毎晩酒にパチンコ、マージャンに喧嘩。女もつくって・・・私はよっぽど里へ帰ろうかと思った。だが帰れなかった。お前がお腹の中にいたから。

洋子 (祖父の看病をしながら聞き耳を立て、知幸の方向へ移動してくる)

母 お前が生まれて2年後、先代が急病で亡くなった。それからというもの、あの人はがらっと変わった。朝早くから夜遅くまで働き、会社を興した。

洋子 (静かに近寄った洋子)・・・お父さん、私、信じてる。お父さん、信じているよ。

知幸 ……お袋・・・俺は、俺は親父のようにはなれない。

母 何を言っている。知幸、お前には安田家の血が流れている。お父さんの子だからお人よしだけれど、いざという時には強くなれる。勇気を出せ、知幸！ 皆かお前を頼りにしている。(知幸の肩を叩く、和幸、目をつぶって首を振っている)

音響 ～ 知幸の携帯に着信音、知幸、立ち上がり ～

知幸 (力なく) もしもし・・・

良美 (マイクの声、以下同じ) あんたー、あんたー、生まれたよ・・・

知幸 な、な、何だって、生まれた！そうか、生まれたか！（間）で、どっちだった。

良美 男の子・・・元気な男の子です。

知幸 男の子、そうか、元気な男の子か。

良美 3700グラム。大きな子だったわ。

知幸 それは、それは、有難う、よく生んでくれた！

良美 あんたにそっくり。嬉しいよ。じゃーね。

知幸 うーん（宙見つめて携帯をテーブルの上に置き）そうか、3700グラムか（急に明るい表情に）ははは、ははははは。

3人 （手をたたき、笑い、お互いに喜ぶ）（洋）嬉しい、男の子だって。（母）あんた、よかったねー、（父）後継ぎができたか。

知幸 ～突然表情を引き締め、ゆっくり足元のバックからドライバーを引き抜き、右手にし刀のように仰ぎ見て、決断したように頭を数回振り～

知幸 洋子、ここへ来なさい。

洋子 （恐る恐る近寄る）なに、お父さん、怖い顔して。

知幸 俺は決めた。このクラブは、お前に、お前に預けておく。

洋子 えー、どういう意味、預けておくって、どういう意味よ。

知幸 俺は今日限り、遊びはやめた。このクラブを、俺の目の届かぬ所へしまってくれ。（間）それに、お袋、このファントムもやめる。（ポケットから取り出した車のカギを側に寄ってきた母親に手渡す）
（母親、半信半疑で鍵を受け取り、知幸を見て）

母 ……知幸。

洋子 （両手でクラブを受け取り）お父さん、やっぱりお父さんだ、あーあー（泣く）偉い、偉いわー。

知幸 （右手握りこぶしを天に突き出し）俺は、俺はやる！家族を、シジミを、穴道湖を、穴道湖を護るために、俺は、やるぞ！

母 （息子に近寄り手を握って）知幸、本当だろうねー、信じていいんだねー、信じて。

知幸 お母さん、いいとも。男に二言はない。（父に近寄り）お父さん、俺は変わる、変わるぞ！

父 （よろよろと立ち上がって）と、知幸、知幸！よう決断してごいた（倒れ込む父親を知幸支える）知幸～。

知幸・父 お父さん、お父さん。知幸、知幸。（2人、抱き合って泣く）

音楽 安らぎの曲

照明 徐々に消える。

映像 カレンダーの日付が変わる。8月20日、21日、22日、23日、24日。カレンダーが消えたところで、場面転換。映像は第3幕と同じ

安田家のリビングに。

第4幕

音楽 「花は咲く」20秒。

映像 第1幕に同じ。

照明 音楽、映像に遅れてスタート。

場面 「安田シジミ食品」の看板と料理台を上手にセット。母と洋子料理を上手から運び込む。知幸、仕事着を着て網を修理している。

洋子 凄いご馳走ね。

母 今日はお祝い、皆さんを招待したんだから、しっかりお手伝いするのよ。

洋子 分かりました。お母さんの分までお手伝します。次は飲み物運び。

母 洋子、気をつけるのよ。

～下手から新田登場、3人に向かって～

新田 みなさーん、お待たせいたしました。会長さん、そして良美さんとお孫さんのご帰還です。

男友達 ～大草、櫛井、高橋、北垣ら男性、安田会長の車椅子を押して入場～

女友達 ～菅井、大石、糸原、下手から良美を囲んで入場。良美、赤ん坊を抱いている～

知・母・洋 ～3人、父、良美、赤ん坊を下手まで迎えに行き、中央に移動、取り囲み、おめでとう、おめでとう、の祝福をする～

知幸 お父さん、退院おめでとうございます。

父 知幸、いや、社長、戻ったぞ。おお、良う似合っとなるがの、法被が。

知幸 いやー。

良美 あんた、赤ちゃんよ。

知幸 良美、良美・・・よく生んでくれた・・・ありがとう・・・ありがとう。

良美 あんたー、あんたー、頑張ろうね。(赤子を抱いて知幸の胸へ)

一同 (3人固く抱きあう。知幸、赤ん坊を抱く。赤ん坊が泣く、赤ん坊を良美に渡し、居すまいを直す)

音響 赤ん坊の泣き声が小さくなる。

新田 準備が整ったようですので、開演に入りたいと存じ・・・

知幸 ちょっと、ちょっと待って下さい。

(知幸、新田を制して下手に下がり、深々と礼)

私は皆さんに懺悔しなければなりません。私はこれまで副組合長という立場にありながら、皆さんや家族に甘えて、わがままな振る舞いをして迷惑をかけてまいりました。だが、父の病気と、長男の誕生でやっと・・・

(泣く)・・・目を覚ますことが出来ました。安田知幸は生まれ変わりました。これから、皆さんと共に、宍道湖とシジミを護るために先頭に立

一同 って闘います。どうぞしっかり鍛えてください
 おめでとう、おめでとうの喝采。

新田 新社長の決意を聞いたところで乾杯したいと存じます。音頭は友人代表
 の北垣さんです。北垣さん、お願いいたします。

北垣 新社長、おめでとう。では高らかに乾杯したいと存じます。安田会長の
 退院、赤ちゃんの誕生、安田社長の就任を祝して、乾杯！

一同 ～声を合わせて乾杯を宣言する。しばし盃を重ねる～

ピアノ 「生きるものの歌」前奏開始。

新田 皆さーん、珍しいお客さんです。我らの指導者である山中教授がお祝い
 に駆け付けて下さいました。まずは歌声をお聞き下さい。

教授 ～客席から歌いながら登場 ステージに上がり後半を歌う～

一同 拍手喝采

教授 人は弱いものです。だが、背中を押してくれる人がいれば変わることが
 できます。新しい命の誕生とともに、地球を救う活動が加速するとは、
 なんと素晴らしいことでしょう。この美しい地球が永遠に続くよう、皆
 さん、ともに闘いましょう。
 （知幸と握手をする）

知幸 微力ですが、頑張ります。では、決意表明したいと存じます。皆さん、
 高らかにご唱和願います。（右手を挙げ高らかに）「宍道湖の自然とシジ
 ミを護るぞ」

一同 「宍道湖の自然とシジミを護るぞ」（知幸と交互に）護るぞ！ 護るぞ！
 護るぞ！ 護るぞ！
 ～拍手喝采、おめでとう、おめでとうの交換。40秒程度歓談～

音楽 「宍道湖周遊歌」のメロディーが始まったなら家族6人を残して三々
 五々上手、下手へ退場。

家族6人 ～宍道湖の夕日を眺めている。照明が消えたら上手へ移動～

照明 ステージの照明を徐々に落とし、映像と音楽のみ残る。

映像 ～宍道湖～夕日～夜明け～シジミ漁風景～

音楽 宍道湖周遊歌クライマックスでフィナーレ。

完